

## 2014 アートマイル国際交流壁画共同制作プロジェクト 報告書

日本学校名 [ 金沢市立米泉小学校 ] 担当教諭名 [ 西野 聡子 ] ( 4年2組 30名 )

交流相手国 [ 台湾 ]

海外学校名 [ Wen Ya Elementary School ] 担当教諭名 [ Ruth Hou ]

### ■実施教科・時間数について教えてください。

|                         | 教科        | 単元名                                      | 時間数 |
|-------------------------|-----------|--|-----|
| アートマイルに関連した<br>実施教科・時間数 | 総合的な学習の時間 | 人のために何ができるかな                             | 20  |
|                         | 英語        | Where do you live? A friend from Canada. | 3   |
|                         |           |  |     |

### ■作品について教えてください。

|            |   |
|------------|---|
| 題 (テーマ)    | 金沢と台湾をつなぐ人と文化   |
| 絵に込めたメッセージ | 日本で生まれ、台湾のために尽くした八田與一を初め、児童が学んだ金沢の文化を紹介。台湾で生まれ、日本で活躍した王貞治を初め、交流相手の児童が伝えたい台湾の文化を絵にあらわす。「相手の文化を知り、認め合いましょう」 |



### ■今回の取り組みの成果と課題はどういった点でしょうか？

| 成 果  | 課 題   |
|--|---|
| <p>海外に住む同世代の友達と、直に話したり、いっしょに活動する体験を行ったりすることで、外国の伝統や文化について実感を持った理解が出来た。</p> <p>壁画制作活動を取り入れることで、一人一人の個性や特技が生きる学習活動となり、一人一人が認め合い、可能性を見出すことができた。</p> | <p>担当した英語教諭はとても熱心に支援してくださいました。しかし英語の授業のみでの活動となるため、クラス間交流としての意識が上がりにくい課題が残った。</p> <p>クラス間交流をする場合は、交流先の担任との連携が非常に必要となることを、改めて感じた。</p> |

### ■アートマイルに取り組む前と比べて相手国や世界に対しての意識はどう変わりましたか？

| 児童生徒の意識の変化   | 教師の意識の変化   |
|--|--|
| <p>以前より、世界を近く感じるようになった。しかし、同時にもっと仲良くなりたいたいからこそ、英語をもっとたくさん学び、上手になりたいという思いに繋がった。</p> | <p>交流相手国の物事や人に対する、この上ない温かさを改めて実感した。また、台湾と日本の関係への見聞が広がった。</p> <p>外国を知る授業カリキュラムの必要性を強く感じた。</p> |

■主な活動の流れを教えてください。

| 場面      | 時期         | 活動内容  | 児童生徒の反応   | 実施教科等      |
|---------|------------|---|---|------------|
| 自己紹介    | 6月<br>7月   | 今年度も昨年度に引き続き、台湾のウエンヤ小学校との交流活動を行うことを伝え、学習の見通しを持つ。              | 楽しい学習活動を行いたいという期待と、昨年度に比べて、どんな学習活動になるのか、具体的な活動が見えないため、不安を持つ姿もあった。                 | 特別活動<br>英語 |
| テーマ学習   | 9月<br>10月  | 総合的な学習の時間に位置づけられた「金沢学びタイム」として、金沢の偉人や金沢の伝統文化を学ぶ。               | 交流相手に伝えたい内容を常に意識しながら、総合的な学習の時間に、目的意識を持って熱心に取り組んだ。                                 | 総合         |
| 構図決定    | 11月        | 交流校の来校時の、金沢と台湾の文化や偉人を並行させて紹介されたことを元に、自分達の伝えたい構図案を出し、相手校と決定する。 | 当初は、構図や下絵、彩色を担当する係を決めようとしたが、児童は、活動全てに関わり、全員で仕上げたい思いを強く持った。                        | 総合         |
| 壁画制作    | 11月<br>12月 | 下絵案に、全員が描いたもの全てを位置づけ、全員で話し合っ決定する。<br>下絵に彩色を行って仕上げる。           | 授業時間で足りない活動の時間を、休み時間も使うなどして、非常に熱心に楽しんで描く姿が見られた。自分の考え等を出さない児童が、黙って黙々といいいに描く姿も見られた。 | 総合         |
| 鑑賞・振り返り | 3月         | 戻った絵をクラス内で鑑賞する。<br>自分達の描いた絵に対して、同じ内容や交流相手国の文化や伝えたい物が何か考えを持つ。  | 交流相手が、描いてくれた内容や、完成した絵に対する満足感が大きかった。アートマイルプロジェクトに参加したことへの有意義さを語った。                 | 特別活動       |

■学習目標(つけたい力)と成果(ついた力)について教えてください。

「目標」先生が指導に当たって重視したことをABCで記入 (A:特に重視した B:重視した C:特に重視しなかった)

「成果」先生の手応え (5:とても身についた 4:身についた 3:どちらともいえない 2:あまり身につかなかった 1:身につかなかった)

| 学習目標・つけたい力               | 目標 | 成果 | 成果についてそう感じた場面・理由  |
|--------------------------|----|----|---|
| 自文化の理解                   | A  | 4  | 授業での活動において、交流相手に伝えたいからこそ、理解したいという姿が見られたため。                  |
| 異文化の理解                   | B  | 3  | 交流相手から紹介された日本と台湾の文化のプレゼンを見て、関心を高め、もっと理解したいという思いを持ったため。      |
| コミュニケーション力<br>(説明・共感・英語) | A  | 5  | 常にグループで、ビデオレターや TV 会議の準備、訪問時の練習などを行うことで、力が大きく伸びたため。         |
| 情報活用能力<br>(情報収集・発信)      | B  | 5  | 交流相手にわかりやすく伝えるためには、どんな方法を用いれば良いか、常に考え、工夫する姿が育ったため。          |
| 人間関係をつくる<br>(学級内・交流相手)   | A  | 4  | 4月から担任がとくに力を入れている目標であり、アートマイルプロジェクトに関係なく、児童は仲良く助け合っ活動した場面。  |
| 協働する力<br>(役割分担・協力)       | A  | 5  | 英語で話す練習や、彩色活動での色の作り方、描き方、うまく描けない児童への励ましなど、みんなで協力し創り上げたため。   |
| 学習を追究する意欲                | B  | 4  | 4月から担任がとくに力を入れている目標であり、アートマイルプロジェクトに関係なく、児童は高い追究心を持って学んだため。 |
| 表現力<br>(伝えたいことを絵で表す)     | B  | 4  | 4月から担任がとくに力を入れている目標であり、アートマイルプロジェクトに関係なく、相手を意識し工夫する姿が育ったため。 |
| 作品を鑑賞する力                 | C  | 4  | 自分達が一生懸命に描いた絵が、交流相手によって完成されたことを直に見て、相手の描いた物について想像し合っ場面。     |